

住宅用火災警報器の設置基準

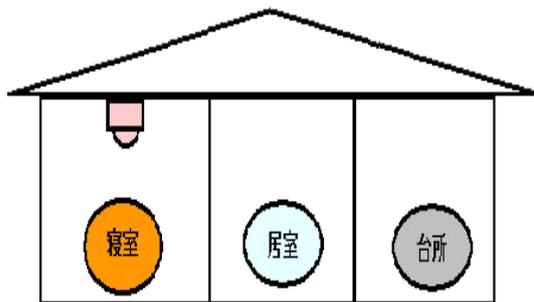
図解

消防法及び匝瑳市横芝光町消防組合火災予防条例により、設置義務のある事例を図示しましたので、参考にして下さい。なお、台所は、設置義務から除かれていますが、最も出火危険が大きいことから設置するように推奨されています。

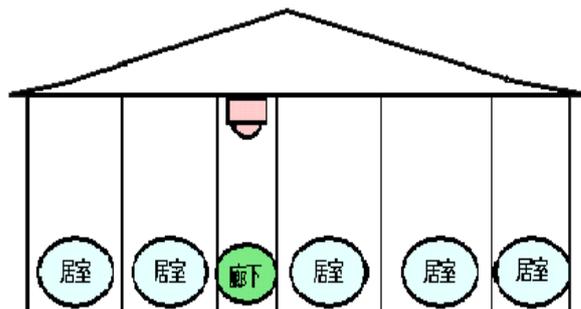
a. 平屋建ての場合

 : 住警器等の煙式感知器

① 寝室に設置する。

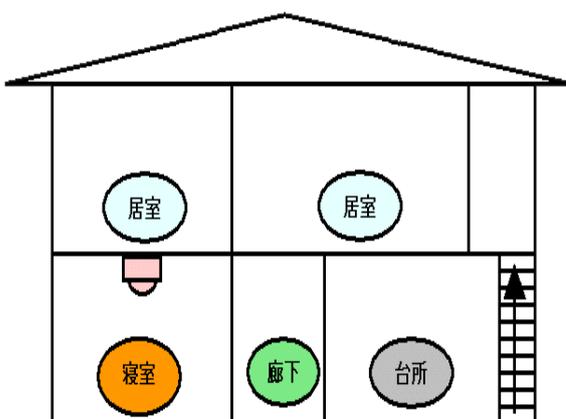


② 居室が5室以上ある階に設置する。

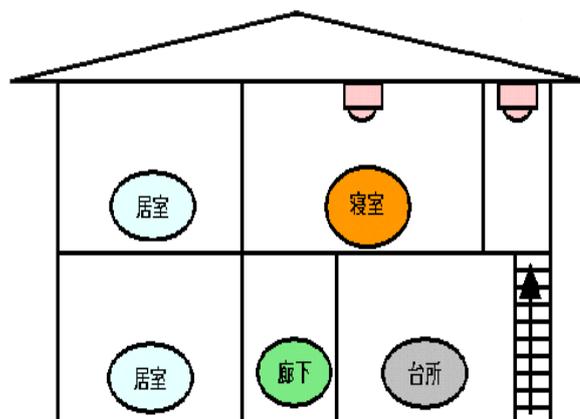


b. 2階建ての場合

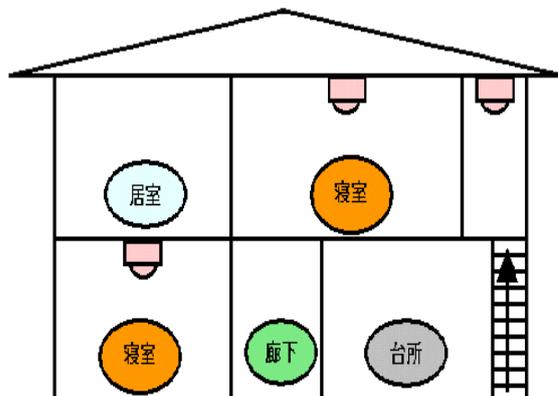
① 1階の寝室に設置する。



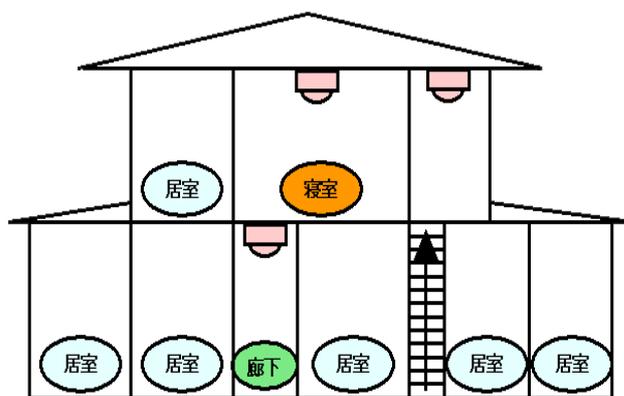
② 2階の寝室と階段に設置する。



③ 1、2階の寝室と階段に設置する。

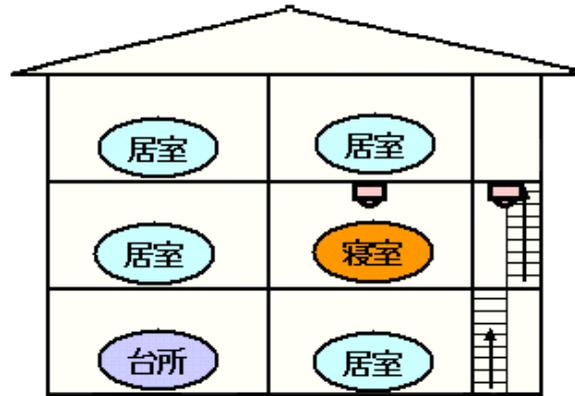
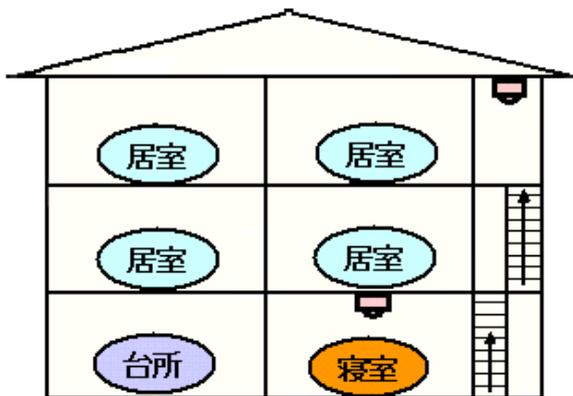


④ 1階廊下、2階の寝室と階段に設置する。

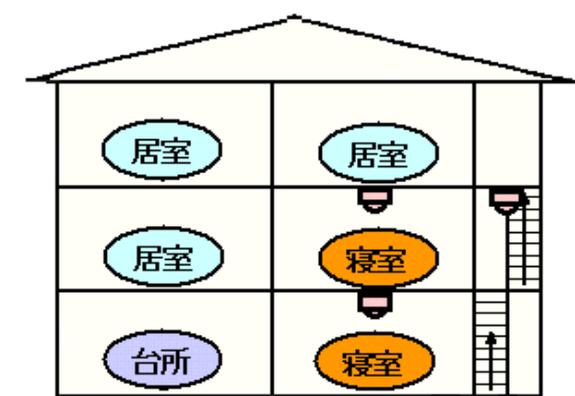
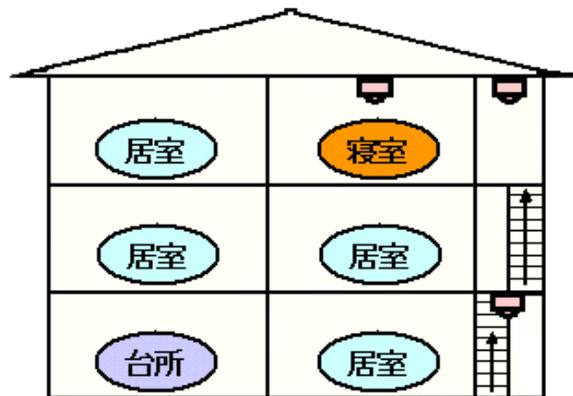


c.3階建ての場合

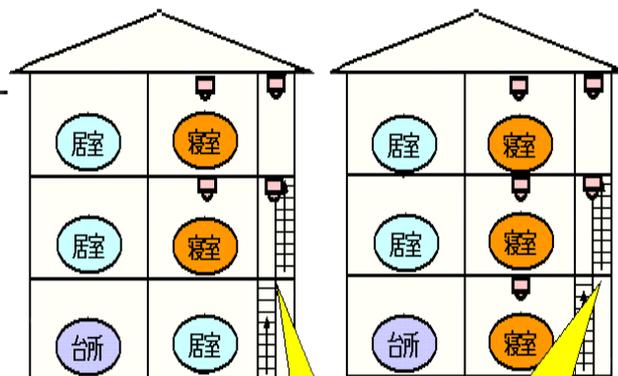
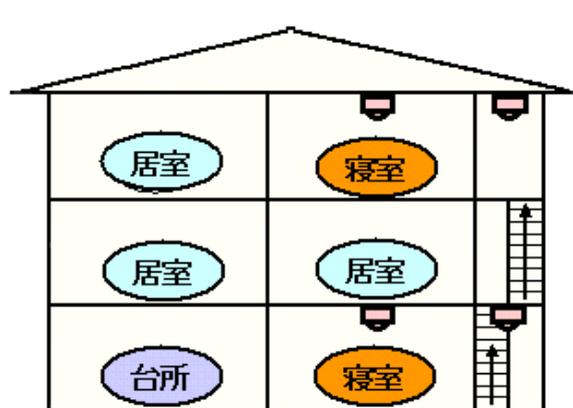
- ① 1階の寝室と3階階段に設置する。 ② 2階の寝室と2階階段に設置する。



- ③ 3階の寝室と1、3階階段に設置する。 ④ 1、2階の寝室と2階階段に設置する。



- ⑤ 1、3階の寝室と1、3階階段に設置する。 ※1階階段に設置しなくて良い場合



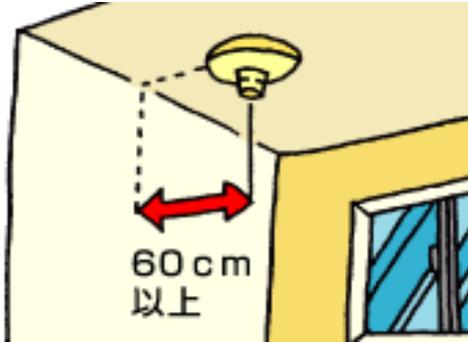
d. 4階建て以上

3階建ての場合に準じて、設置する。

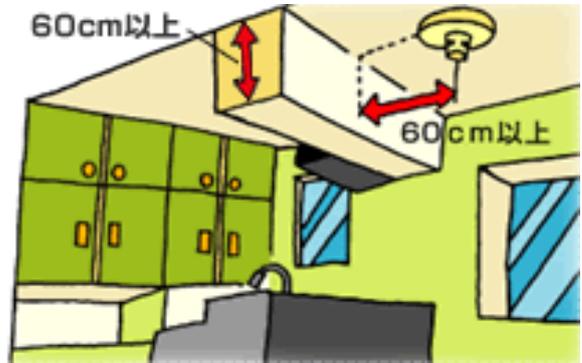
設置義務があるが、上の階に設置してあるので設置しなくてもよい！！

取付け個所の注意事項

壁から60cm以上



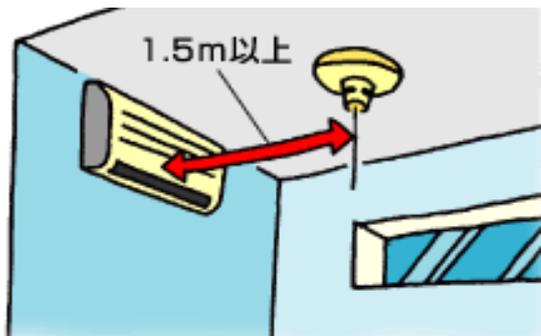
はり・たれ壁から60cm以上



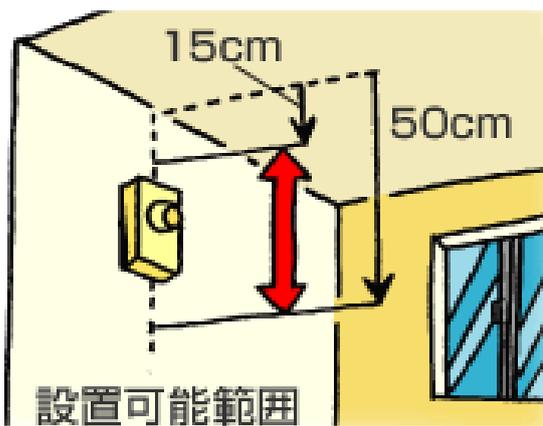
凸部 60cm以内



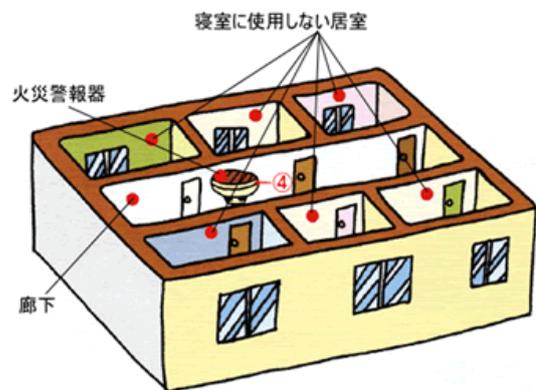
エアコン、換気口の
噴出し口から1.5m以上



天井から15~50cmの範囲の壁面
(壁取付けの場合)



1室7㎡以上の居室が5室以上の場合
廊下などに住宅用火災警報器を設置



住宅火災による死者の撲滅を目的とし、早く火災を発見して人を逃がすことを最優先としています。従って、寝室や階段などには、煙式感知器を設置します。